

日頃より皆様には、ご愛顧賜り誠にありがとうございます。

私は大阪が大好きです。長男も関西の大学へ行かせました。その大阪で瓦版200号を皆様にお配りさせていただきまして、感無量です。大阪での皆様より受けたご恩とご指導を基に、入船グループは、全ての組織、社員がお客様のそして、社会の声に耳を傾け、ニーズに応えていくことで、信頼の構築と入船ブランドの向上・新しい時代に突入している中で会社の若返り化にも努めて参ります。

鉄鋼業・製造業の将来に対して、色々なネガティブ記事が多い中で、鉄鋼業・製造業が衰退化しているのではなく、我々が衰退化しているのではないかと考えています。

世界はダイナミックな経済成長を続けています。古い業界の中でスクスクと活動しているのではないか？
もう一度ゼロに戻したい。
もう一度薄氷を踏んでみたい。

そんな想いの仲で入船グループは更に皆さまのお役に立つことを誓います。

膨張ではなく、成長します、可能性をあきらめない。



ZERO to ONE

社長 市野勝昌(090-4966-4666)

IRIFUNE
かわら版

No200

総務部の佐藤です。

1993年～1995年にかけて約2年間仕事で大阪にいたことがあります。
JR大阪駅と地下鉄東梅田駅を通勤に利用していましたが、地上に出るとマルビルが象徴的にそびえたっていた光景が印象に残っています。
昨年4月に久しぶりに大阪駅前行った時のこと、再開発が進んで高層ビルが乱立している様子は予想通りでしたが、シンボルマークの丸いビルが見当たらないことに不思議な気分になりました。いつのまにか解体されていたのですね。30年という月日で街の風景も大きく変わるものだなあと、感慨にふけった次第です。
弊社大阪営業所も昨年12月、開設から20周年を迎えました。
20年という歴史を刻むことができたのは、お取引先皆様のおかげと感謝しています。
今後とも入船鋼材株式会社をご愛顧いただけますよう宜しくお願ひ致します。

<取締役総務部長 佐藤陽一>

かわら版「200号達成」誠におめでとうございます！

入船鋼材 取締役浦安生産部長の柳です。

日頃は弊社大阪営業所をご哀願頂き誠に有難うございます。

さてこのかわら版ですが、年12回発行なので16年以上継続中。素晴らしい事。
そして特徴は、「わかりやすく」「感じた事をそのまま」「手書きで書いている」ことではないでしょうか。世の中パソコンに活字を打ち込むのが当たり前になり約30年経過しておりますが、たまに手書きで書きたくなったり、手書きの文章が読みやすかったりするのは私だけでしょうか。何かほのぼのと読めるこのかわら版のファンの一人です。

「200号達成」の2026年は丙午(60年に1回)火の性質を二重に持つ特別な年
****丙午(ひのえうま)**は、火の性質を二重に持つ特別な年で、情熱や強さを象徴します。この年は、強い運勢やパワフルなエネルギーがあるとされ、過去には火災が多い不吉な年と考えられたこともあります。丙午は60年に一度訪れる年で、次回は2086年です。**

今後もかわら版をご愛読頂けますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

皆様のご健康、ご多幸を祈念しております。

ご安全に！！！

<取締役浦安生産部長 柳隆晃>

かわら版200号！！

100号記念(2017年10月)の時も嬉しかったのですが、無事200号を発行できた事は当時の気持ちより嬉しく感じております。それは変わらずお取引様にご愛読いただいているからです。
いつも読んでるよ！手書きが良い！など書いていて本当に良かったと心から思います。また、ご多忙の中、丁寧にコメントまでくださるお取引様もいらっしゃいます。本当に感謝しかございません。
改めまして、いつもありがとうございます！！

その割には字が下手くそで申し訳ございません。これもご愛嬌と言う事でお許しい下さい(笑)大阪営業所は4名体制の小規模ではございますが、少しでもお取引様のお役に立ちたいと言う気持ちは何処にも負けません。引き続き変わらぬお付き合いとご指導の程、何卒、宜しくお願ひ致します。

目指せ300号！！

【久保田雅夫】

いつもかわら版を見ていただきありがとうございます。

また、フレッシャーズアイのコーナーも見ていただきありがとうございます。

フレッシャーズアイでは、日々の業務や周囲の方々から教わったことを共有しております。

今後も勉強したことを発信していけたらと思っております。

これからも入船鋼材かわら版をよろしくお願いいたします。

【松木優斗】

今回は、かわら版発行200号という節目の記念号です。発行開始から約17年、私が小学生の頃から続いていると思うと、感慨深さを感じつつも、どこか不思議な気持ちになります。

私自身は、入船鋼材に入社してこの2月で1年半を迎えました。毎月このかわら版のネタに頭を悩ませつつ、この長い歴史

営業部の山縣です。

日頃は大阪営業所スタッフが大変お世話になっております。2026年2月号で【かわら版】も200号となりました。(前回100号は2017年10月号)100号から200号まで8年以上が経過しました。

何と言ってもコロナは人の行動範囲を狭め、ビジネスにも大きく影響を及ぼしました。DX、AIなど仕事のあり方、進め方も大きく変化を遂げるきっかけにもなりました。

人手不足、2024年問題など、鉄鋼業界は次々に荒波に直面しており、正しく「乱世」と言っても過言ではありません。よりグローバル化が進み、流通業も海外に目を配らなくては見通せない環境となりました。

2023年4月には創業70周年を迎え、11月には大阪事務所を現所在地へ移しました。2025年11月には大阪営業所も開設20周年を迎えることが出来ましたが、一時は運営が厳しく、撤退を考えていた時期もありました。今となってはお取引先様にも恵まれ、販売量を増やすことが出来ました。

入船鋼材は、これからも皆様のお役に立てるよう社員一丸となり、サービスの向上に努めて参ります。今後とも大阪営業所を宜しくお願ひ致します。

<取締役営業部長 山縣政和>

4年前まで大阪営業所長をしていました吉田です。

いつも大阪営業所をご覗ください、またかわら版をご愛読いただき、ありがとうございます。

私は、東京で課長として必死のパッチで職務を全うしています。

昨年はベトナムへ研修、アメリカのDXイベントに参加するなどグローバルな動きもしています。プライベートでは、息子の所属する学童野球チームで、今年から監督を務めることになりました。子どもたちを通じて学ぶことも多く、仕事への活力となっています。大阪での5年間は、辛いこともありましたが、思い返すと夢のような楽しい時間でした。特にプロ野球シーズン中は、「もう一度住みたい」と強く思う日々。また辞令出ないかな…。

東京にお越し頂いた際は、是非お立ち寄りください。

引き続き、大阪営業所をよろしくお願ひ致します。

<課長 吉田秀和>

☆☆ 業界ニュース ☆☆

- ①12月末の輸入鋼材岸壁在庫量は13万5千トン
前月対比2千トン(1.5%増加)
- ②工作機械の業界団体は1月上旬に2026年の受注額が1兆7000億円になる見通しを公表(受注予想)
2025年実績と比べて1000億円(6%)の上積みを見込む
- ③12月末の薄板3品の国内在庫(メーカー・問屋・コイルセンター)は11月末対比5千トン増の393万3千トン
3ヶ月連続で400万トン割り込んだ。

うわー！！とうとう200号ですか。

拙い文章ながらも、暖かいコメントをいただきながら何とか続けてまいりました。当初はB5判だったかわら版もA4判になり、4名体制になってからは、フレッシャーズアイなどお届けする内容もグレードアップしております。そしてこれからも、まだまだ続いてまいります！また、YOUTUBEでは「入船の流儀」として生の声をお届けし

ております。どんどん更新しておりますので、こちらも是非お楽しみに！！
AIなど新しいツールも増えてデジタル化し続ける昨今ですが、かわら版だけはアナログを死守していく所存です。こういう情報が欲しいといったご要望なども常時受け付けておりますので、いつでもお声がけください！

【山本春奈】

